

活発に活動するカニの仲間

■活発なカニの仲間の活動

今回調査した日は、仙台の最高気温が35.2℃を記録した高温の日であった。我々人間にとっては厳しい暑さであるが、強い日差しの下、干潟では様々な生物が活発に動いていた。



(Fig.1 活発にウェビングをするチゴガニ)



(Fig.2 アシハラガニ)



(Fig.3 コメツキガニ)



(Fig.4 ウミニナの仲間)

■多くのナベカ

今回は水の透明度が高く、水中の生物の様子を観察することができた。水門の七北田川側では、カキの間に生息する多くのナベカを観察することができた

(Fig.5)。大きなモクズガニが水底を歩く様子や、たくさんのケフサイソガニ、ボラの稚魚の群れなど様々な生物が生息する豊かな干潟を観察した。



(Fig.5 ナベカ)



(Fig.6 ボラ ケフサイソガニの仲間 タテジマイソギンチャク)

(佐藤 賢治)